

# 『ハイブリッドERを活用した救急初期診療が患者のアウトカムに与える影響』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	重症救急診療におけるHybrid E R (hybrid emergency room: 外傷診療において必要な“検査”と“治療”を1つの部屋で行える初療室)の治療影響は報告が少ないので、今回当院の特徴であるHybrid E R診療の使用状況(予後・合併症・時間経過)を調査します。
研究の方法	診療録から得られる情報を統計解析して、Hybrid E Rの診療効果を調べます。
対象者	2017年1月1日～2024年3月31日の間に、当院の救急外来を受診された患者さん
利用する試料/情報	生年月、年齢、性別、診断名・重症度 (ISS : Injury Severity Score・傷害の重症度スコア)、既往歴、内服薬、放射線検査画像所見、放射線検査実施時間、血液生化学検査(乳酸値、ヘモグロビン)、CT (Computed Tomography : コンピューター断層撮影)、撮影時間、手術種類、SBP (Systolic Blood Pressure : 収縮期血圧)、HR (heart rate : 心拍数)、GCS (Glasgow Coma Scale : 意識障害の評価分類スケール)、手術時間、出血量、輸血の有無、術後合併症、30日もしくは90日以内の死亡、在院日数
利用する試料/情報の取得方法	診療で得られた診療録等から取得します。
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	日本救急医学会で発表したのち、救急医学にかかわる雑誌へ投稿を予定しています。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、西暦2025年12月31日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 救急科 医師：妹尾 聡美
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 救急科 妹尾 聡美